

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	道路交通適正化のための公共交通利用促進施策に係る経費		事業開始年度	平成18年度	作成責任者																								
担当部局庁	都市・地域整備局		担当課室	街路交通施設課	課長 松井 直人																								
会計区分	一般会計		上位政策	道路交通の円滑化を推進する																									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-																									
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上させるシステムを開発することにより、自動車から路面電車など公共交通への転換を図るとともに、渋滞の緩和や環境負荷の軽減など道路交通の適正化に資することを目的とする。</li> </ul>																												
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上させるため、                         <ul style="list-style-type: none"> <li>①路面電車の通過を優先して、信号を制御するシステム</li> <li>②電停で待っている利用者に対して、接近する路面電車の到着予想時刻等を情報提供するシステム</li> <li>③路面電車の接近情報をバス運転士に知らせることにより、バスの出発時刻を調整するシステム</li> </ul> </li> <li>などのシステムに関する実証実験を実施して施策の効果などを把握するとともに、軌道事業者に対してこれらのシステム機器の製作、設置について助成を行う。</li> </ul>																												
実施状況	<p>&lt;平成21年度の実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電停付近の地下街において接近する路面電車の到着予想時刻等を表示するシステムの実証実験等を実施。</li> </ul>																												
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求																							
	予算額(補正後)	200	150	85	-	-																							
	執行額	197	100	84																									
	執行率	98.5%	66.5%	98.5%																									
	総事業費(執行ベース)	-	-	-																									
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。</li> <li>・また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。</li> <li>・軌道事業者への助成については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に基づく補助金交付申請時に使途の把握を行うとともに、同法に基づく実績報告において実績の把握を行っている。</li> </ul>																											
	見直しの 余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上させるため、路面電車の通過を優先させる信号制御システムや到着予想時刻等を表示する情報提供システムなどに関する実証実験を実施してきており、平成21年度はこれまでの成果をとりまとめた。</li> <li>・今後は、実証実験による成果を活用して、軌道事業者や地方公共団体による路面電車の速達性、定時性、利便性の向上を推進していくことが課題である。</li> </ul>																											
予算・ 監視の・ 効率化	<p>【事業廃止】</p> <p>本経費については廃止することとするが、公共交通利用促進の重要性を踏まえ、実効性の向上に資する取組を行う。</p>																												
補記	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:right;">(予算額)</td> <td style="text-align:right;">(決算見込額)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>062 道路交円滑化推進費</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>95016-2123-09 道路交円滑化推進調査費</td> <td style="text-align:right;">50百万円</td> <td style="text-align:right;">50百万円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>95016-2405-16 公共交通利用支援事業費補助金</td> <td style="text-align:right;">35百万円</td> <td style="text-align:right;">34百万円</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						(予算額)	(決算見込額)				062 道路交円滑化推進費						95016-2123-09 道路交円滑化推進調査費	50百万円	50百万円				95016-2405-16 公共交通利用支援事業費補助金	35百万円	34百万円			
	(予算額)	(決算見込額)																											
062 道路交円滑化推進費																													
95016-2123-09 道路交円滑化推進調査費	50百万円	50百万円																											
95016-2405-16 公共交通利用支援事業費補助金	35百万円	34百万円																											

国土交通省  
84百万円

- ・路面電車の速達性、定時性、利便性の向上による公共交通の利用促進施策の検討
- ・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上するための情報提供システム機器の製作、設置への助成

【企画競争】

A. 公益法人  
((社)日本交通計画協会)  
50百万円

- ・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上するための、情報提供システムの高度化に関する調査検討

【補助】

B. 民間企業  
(広島電鉄(株))  
34百万円

- ・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上するための情報提供システム機器の製作、設置

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。使  
 途と費目の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(社)日本交通計画協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務	情報提供システムの高度化に関する調査検討	45			
外部委託	アンケートの印刷、集計作業等	5			
計		50	計		0
B.広島電鉄(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	情報提供システム機器の製作、設置	34			
計		34	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0